

テーマ：観光（実践校）

## 胆振管内 登別市立青葉小学校

### ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間において、校区内にある「キウシト湿原」をテーマに設定し、湿原を管理・保護している方々の協力を得ながら、自然、野鳥、昆虫等を保護することの大切さについて新聞や絵等にまとめ、学年内や保護者に発信する取組を行いました。

### ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

#### ①取組の様子

##### (1) 課題の設定

第3学年が行っている総合的な学習の時間のねらいを踏まえ、体験的な学習や外部講師（ゲストティーチャー）を招いた出前授業を行うことにより、児童の興味・関心が高まるよう工夫しました。また、児童が自分の興味・関心に応じた課題を設定できるよう、湿原を管理・保護している方によるオリエンテーションを始めに行いました。



【オリエンテーションの様子】

##### (2) 情報の収集

湿原は、校区内にありますが、実際に行ったことがない児童も多いことから、社会科の学習（地域探検）と関連付けたり、タブレットを活用し画像や映像を見たりしました。また、図鑑等から「絶滅危惧動物」という言葉を見つけた後に湿原に絶滅危惧動物がいるか調べようとするなど、個人やグループで様々な視点から情報を収集しました。



【ゲストティーチャーによる説明】

##### (3) 整理・分析

これまで学習した内容について、収集した情報を整理・分析することにより、身近にある「キウシト湿原」の自然について知ることができ、改めてふるさと登別の自然を大切にする重要性について気付きました。



【湿原でのフィールドワーク】

##### (4) まとめ・表現

考えたことを根拠を明らかにして、同学年の児童や保護者などに分かりやすく伝えるよう、新聞や絵等にまとめ、廊下に掲示するとともに、学級や学年内で発表し合ったり、保護者に聞いてもらったりしました。

#### ②児童の感想等

- ・たくさん調べているうちに、自分の近くに自然がたくさん残っていることが分かり驚きました。
- ・今まで見たことのない生き物もいたので、他の季節にも行ってみたいと思いました。
- ・新聞にまとめることで、自分が調べたことがよく分かりました。



【キウシトふしぎ新聞】

### ■取組の成果（○）と課題（●）

- 児童アンケートの「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心がある」と回答した児童の割合が69%から80%に、「自分が住んでいる地域は好き」と回答した児童の割合が84%から90%に、「今、住んでいる地域行事に参加しようと思う」と回答した児童の割合が68%から81%に増加するなど、キウシト湿原について学んだことで、ふるさとの自然について関心を高めることができました。
- 学習した成果を新聞にまとめたり、インターネットを活用して学び直したりすることにより、湿原の大切さや湿原保護に携わる方々の思いを感じることができました。
- キウシト湿原をより身近に感じることができるよう、ICT等を活用して、冬の湿原の様子についても探求できるよう指導計画を工夫する必要があります。